Chapter 1

論理と集合

数学の理論は、集合という概念で語られる。

そして、集合を構成する条件を考えるために、論理が利用される。

さらに、集合と集合を対応づける概念として、写像がある。

この章で学ぶことは、これから数学の理論を語るための「言葉」として機能するものである。

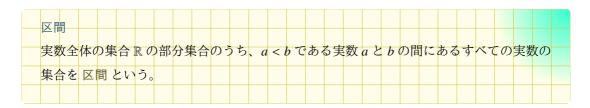
1.1 論理

1.2 集合



1.2.1 実数の集合:区間

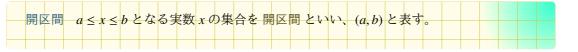
2つの実数の間の範囲は、区間と呼ばれる。

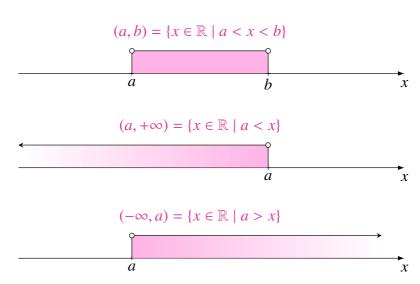


区間は、端点を含むかどうかによって、開区間、閉区間、半開区間に分類される。

開区間

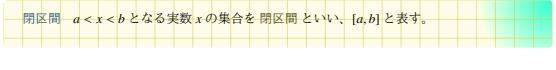
端点を含まない区間を開区間という。

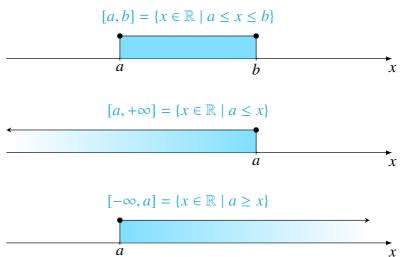




閉区間

端点を含まない区間を閉区間という。





1.2. 集合 3

半開区間

一方の端点を含み、他方の端点を含まない区間を半開区間という。

